

2017-B		VI69B			
拠出金・基金 の名称		メコン河委員会拠出金			
種 別		☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】メコン河委員会(MRC)					
【所管官庁担当局課・室名】 農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ／農村振興局整備部設計課海外土地改良技術室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 メコン河委員会拠出金は、日メコン協力における我が国のコミットメントを実現し、メコン河流域の持続的な水資源開発に資するため、以下の活動に用いられている。 1 メコン河流域各国の気象、水文、水質、生態系、土地利用の実績等に係る調査 2 淡水漁業への影響を低減するための、かんがい施設への適切な魚道の設置手法の検討 3 かんがい施設への適切な魚道設置の指針の策定、及び、関係国に対する施設整備に関する提言に向けた作業・検討					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成29年度	38,495	350	-	1米ドル=110円	100
平成28年度	41,183	343	-	1米ドル=120円	100
平成27年度	37,750	343	-	1米ドル=110円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 ・当委員会は、メコン河下流域の水資源に関連する開発と管理についての常設事務所を持つ唯一の国際機関であり、関係国・地域及び関係機関相互の調整、協調の場としての役割は大きい。また、地域の持続的な開発と成長の基盤となる水および関連する資源の管理を扱う機関として、メコン地域における環境及び資源の保全、食料安全保障を通じた貧困の解消、また政治的な安定に大きく寄与している。 ・流域国(加盟国)による会合や、流域国とドナーの対話の場であるドナー協議会、非公式ドナー協議会を定期的に実施し、我が国を含む各ドナーの意見を、作業計画や事務局の組織改革などに反映させており、地域開発におけるプロジェクト実施・調整機能の向上に向けた努力は評価できる。 ・MRC5ヵ年戦略計画(2016～2020年)では、我が国からの拠出事業の内容が含まれており、互いに同じ方向性を持って活動に取り組んでいるところ。					
【備考】					